

事故事例

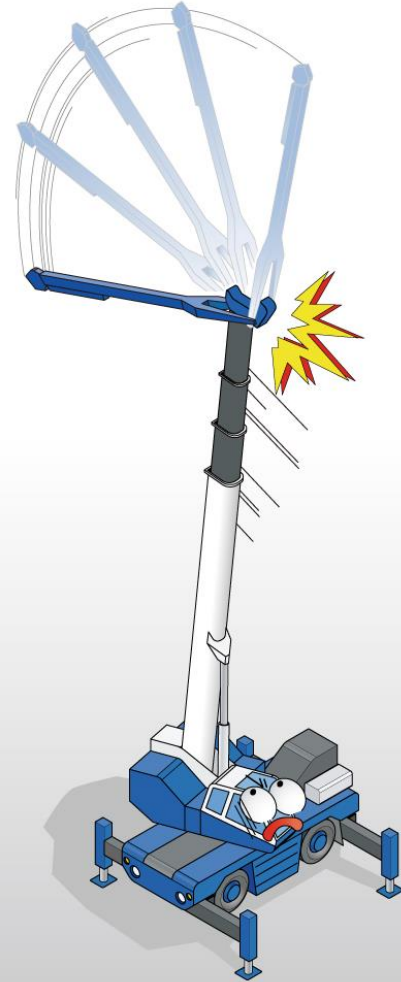
操作ミスによるジブ後方転倒事故

ラフテレーンクレーン

事故発生状況

ジブ作業にて吊り荷を降ろし、ブーム角度最大近くで、ウインチ、旋回、ブーム縮めの3操作を同時に行っていた時、ジブが後方に転倒した。

この時、ブーム縮め操作をしたつもりだったが、誤ってブーム上げ操作をしたため、急なブーム上げ操作となり、ブーム角度上限の衝撃(自動停止)で、ジブが後方に転倒した。また、日常的に起伏緩停止機能を解除していた。



原因

- ・起伏緩停止機能を解除していた。
- ・ブーム縮め操作を誤ってブーム上げ操作をしたため、急な操作になった。

対策

- ・起伏緩停止機能は必要以外解除しない。
- ・クレーン操作はゆっくり確実にいき、作動確認を行いながら操作する。

○操作レバー・操作ペダルの位置を間違えると意図しない操作になり、大変危険です。操作位置を十分確認し、急操作にならないようにゆっくりと作動確認して操作してください。

○起伏緩停止機能を解除したときは、起伏自動停止時に荷振れや衝撃が大きくなり、機械を損傷する恐れがあるため、ゆっくりと操作してください。

〔起伏緩停止機能の注意点〕

ブーム伸縮・ウインチとの併用操作中に起伏シリンダが全伸長して自動停止する時は、起伏緩停止機能の選択状態により下記のように作動します。

- ・解除時:ブーム上げ作動が停止すると同時に、他の作動も停止します。
- ・有効時:ブーム上げ作動のみが緩停止し、他の作動は継続されます。

上記は GR-250N-2 の場合です、詳細や他型式については取扱説明書を参照ください。